

原子力事業者の緊急時対応に係る訓練及び規制の関与のあり方に 係る意見交換（第5回）（非公開会合） 議事概要

1. 日 時 令和4年11月30日（水） 14:00～15:40

2. 場 所 原子力規制委員会 原子力規制庁内会議室

3. 出席者

原子力規制庁 古金谷緊急事態対策監、杉本緊急事案対策室長、
中村安全規制管理官（核セキュリティ担当）、
川崎企画調整官、関企画調査官 他4名

北海道電力（株）	担当者3名
東北電力（株）	担当者3名
東京電力ホールディングス（株）	担当者5名
中部電力（株）	担当者3名
北陸電力（株）	担当者3名
関西電力（株）	担当者5名
中国電力（株）	担当者2名
四国電力（株）	担当者4名
九州電力（株）	担当者3名
日本原子力発電（株）	担当者2名
電源開発（株）	担当者2名
原子力エネルギー協議会	担当者3名

3. 議 題

（1）核物質防護事案を起因事象とした緊急時対応に係る訓練の課題について

4. 配布資料

資料1 核物質防護事案を起因事象とした緊急時対応に係る訓練の課題（核セキュリティ部門）

資料2 侵入者対応訓練（PP訓練）と緊急時対応訓練の連携事例について（関西電力株式会社）

5. 議事概要

（1）原子力規制庁から、核物質防護事案を起因事象とした緊急時対応に係る訓練の課題について、資料1に基づき説明した。

（2）関西電力から、侵入者対応訓練（PP訓練）と緊急時対応訓練の連携事例について、資料2に基づき説明した。

- (3) 資料1及び資料2に基づき核物質防護事案を起因事象とした緊急時対応に係る訓練の課題について意見交換を行い、お互いにそれぞれで解決すべき課題を洗い出して検討し、次回以降の会合で課題に対する解決の見通し等について議論することとなった。

以上